

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

米粉をめぐる課題

背景

- 世界的な穀物ひっ迫と価格高騰
- 米粉加工品に対する需要の高まり

課題

- 米粉の需要の高まりに対応した米粉の処理加工施設が十分に整備されていない。

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(拡充)

～新規需要米生産製造連携関連施設整備事業～

生産者や事業者等が連携し、新規需要米(米粉・飼料用米等)の生産・流通・加工・販売に関する事業計画に基づき、以下の支援を行います。

- ソフト支援： ①新規需要米生産・流通に係る計画の策定
②製品市場動向分析、製品開発研究等

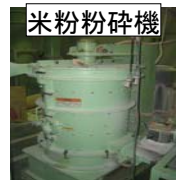
- ハード支援： ①農業生産機械施設導入
②処理加工施設整備
③乾燥調整貯蔵施設整備
④集出荷貯蔵施設整備 等

補助率： 1/2

実施主体： 生産者や事業者等が連携し、新規需要米の生産・流通・加工・販売に関する事業計画に位置づけられた生産者・事業者等
(都道府県、市町村、農業協同組合、農林漁業者の組織する団体、民間事業者 等)



処理加工施設



米粉粉碎機

支援措置

- 生産者に対する支援(米粉・飼料用米等の生産に対し助成金を交付)
- 都道府県の種苗関係団体等が行う多収性稲種子の安定供給に対する支援
- 米粉利用を加速化する基盤技術の開発(米粉の品質特性の解明等)

新規需要米の需要に応じた定着拡大を図る



- 強い農業の創出
- 地域の活性化を図る

